

## 温泉資源の保護に関するガイドライン（地熱発電関係）改定案 に対するパブリックコメント概要

期間：令和4年11月24日～令和4年12月15日

回答者数：15

意見数：63

上記意見のうち、匿名意見や重複意見を除いた意見を整理

番号	章	ページ	パブリックコメント概要	ガイドラインへ反映 (一部反映含む)
1	第三	11	地熱発電の規模に関して、区別が分からず混乱を生じる可能性があるため、誤解を招かないような記述とすべき。	原案で意見趣旨には 対応済み
2	第三	12	「地熱貯留層の範囲と持続可能な熱水利用量を可能な限り科学的に推定」とあるが、申請者が科学的に推定できない場合の対応について記載すべき。	原案で意見趣旨には 対応済み
3	第三	12	掘削許可段階での数値シミュレーションモデルの活用については、慎重に判断する旨を付記すべき。	原案で意見趣旨には 対応済み
4	第三	13	温泉法第4条第1項の不許可事由への該当性を判断するために安全基準等について確認する必要があるように見えるが、そうでない場合は誤解のないよう記載すべき。	反映
5	第三	18	引用した論文については学術誌等の文献名を表記すべき。	反映
6	第三	18	図4の下部に熱源を書き込んだ概念図とし、1. 2 (2) に留意することを求めるべき。	原案で意見趣旨には 対応済み
7	第三	18	本文と参考情報の関係が不明瞭である。外縁を決めることが困難である場合があるため、中心同士の位置関係を踏まえて判断する方法もあることを明記すべき。	反映
8	第三	18	離隔距離については「地熱貯留層の生産あるいは還元の対象地域の中心」と「温泉利用の対象地域の中心」の距離を判断の目安とすべき。	反映せず
9	第四	28	地熱貯留層の適正管理にとって重要な指標は、「地熱貯留層の圧力と流量」から「地熱貯留層の温度・圧力と地熱流体の成分・噴出量」とすべき。	反映
10	第四	28	微小地震の説明文を「地表では人間が感じない程度の微小な地震や、人間が感じる有感の地震が発生する可能性があるため」とすべき。	反映せず
11	第四	29	表5-1、表6-1の調査対象は地熱貯留層からの熱水か温泉か明示すべき。	反映
12	第四	29	アンケートとしての有位性を確認するため、表5-1等を作成した際のアンケート依頼数、回答数を明示すべき。	反映せず
13	第四	31	温泉の保護および利用の観点から、都道府県は温泉地単位の温泉利用状況調査データを公開すべきであることを明示すべき。	反映せず
14	第四	32	温泉部会に地熱発電の専門家を招集すること、部会の開催頻度を多くすること、内規等においては科学的根拠に基づかない内容の削除が求められる。また、ガイドライン（一般温泉）では源泉所有者による所有温泉のモニタリングという指摘があるが徹底されていないため、あらためて明示すべき。	原案で意見趣旨には 対応済み
15	第四	32	事業者にとっては、計画の早い段階から地元の利害関係者や市町村等と対話し、地元の理解を得ながら事業を進めていく姿勢が重要である。	原案で意見趣旨には 対応済み
16	第四	33	図6-1、図6-2について、複数の都道府県にまたがる場合の協議会体制についても例示すべき。	原案で意見趣旨には 対応済み
17	第四	33	図6-1の欠点を補い図6-2が案出されたので、図6-1を廃し図6-2のみとすべき。	反映せず

## 温泉資源の保護に関するガイドライン（地熱発電関係）改定案 に対するパブリックコメント概要

期間：令和4年11月24日～令和4年12月15日

回答者数：15

意見数：63

上記意見のうち、匿名意見や重複意見を除いた意見を整理

番号	章	ページ	パブリックコメント概要	ガイドラインへ反映 (一部反映含む)
18	第四	35	著しい噴出量（湧出量）や成分、温度の著しい変化等が確認された場合は「直ちに」運転を停止する必要がある。	反映せず
19	第四	35	各段階において、既存温泉への影響が見られた場合への対処に、当該温泉事業者への損失の補償を明記すべき。	原案で意見趣旨には 対応済み
20	第四	35	モニタリングや管理については100年以上継続する枠組みをお願いしたい。	反映せず
21	第四	37	ワンストップ化の特例のうち地熱発電に関するものとして、森林法を追加すべき。	反映
22	第四	39	所有者不明土地法の法律番号を記載すべき。	反映
23	第四	39	地熱井掘削において、坑跡上の全地権者からの同意取得の簡素化（一定深度以下は不要など）について検討する旨を明記すべき。	反映せず
24	別紙1	40	協議会等 定期的及び案件の発生に対応して開催することが望ましい旨を明示すべき。	原案で意見趣旨には 対応済み
25	別紙1	40	順応的管理 「・・・考え方であり、」は「・・・考え方。」とすべき。	反映
26	別紙1	41	熱水 熱水と地下水の説明が混在して理解しづらいため、わかりやすく記載すべき。	反映
27	別紙1	42	噴気 「地表に噴出している水蒸気及び付随するガス」に修正すべき。	反映
28	別紙1	40	「温泉資源」と「地熱資源」のそれぞれの用語を追加すべき。	反映せず
29	別紙2	43	地熱資源の特徴について、地熱には負の面もあるため記載すべき。	反映
30	別紙2	44	付表2の地熱資源量の合計値の合算に誤りがある。	反映
31	別紙2	46	付図1の引用の一部は不明分や非公表の発電所を除いた発電電力量であることを補足説明すべき。	反映
32	別紙4	65	温泉の状態変化の事例について、地熱開発に伴う温泉影響が無かったことを示す重要な指標であるため、対比を用いながら明示すべき。	反映せず
33	-	-	ガイドライン（一般温泉）とガイドライン（地熱発電関係）の一本化について検討する旨、明記してほしい。	反映せず